

人間の視覚情報処理特性の解明



講師 井戸 啓介

研究分野

実験心理学・視覚認知科学

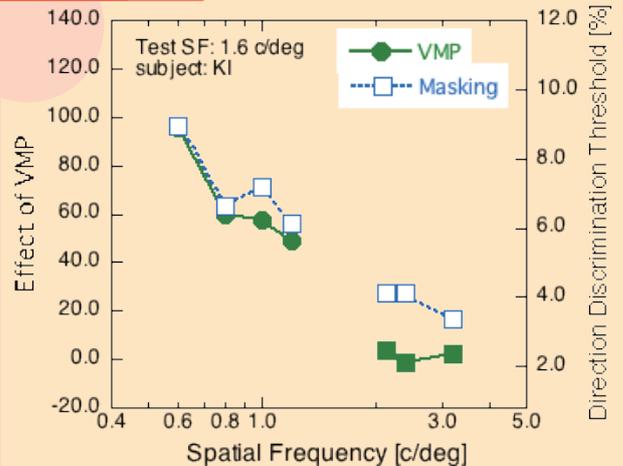
研究内容

実験心理学的な研究手法によって、人間の「ものを見て理解する」という視覚情報処理の特性を探るとともに、脳科学的な知見とも併せて、そのメカニズムの解明を試んでいます。

私の研究のポイント

かたち・動き・色の知覚における感度や錯覚的現象を手がかりとして、視覚情報処理の基礎的特性の研究に従事しています。現在の主なテーマは、動きの知覚における時空間的相互作用です。また、その知見の応用として、情報表示機器の視認性、色弱者への支援、視覚意識や注意といった問題についても関心を持っています。

REPORT レポート



視覚運動プライミング(VMP)現象^(*)の効果と、マスクング^(*)による運動方向弁別閾値が、類似した空間周波数特性を示すことを明らかにした実験結果。